

科学者京研会誌 勉強会 + 継続委員会
at Palace Side Hotel.

12/5.

討題

- 1° Pugwash Conf と日本との関係
- 2° Pug. Conf. Continuing Committee に日本から 1 人
- 3° 科学者京研会誌 (1968) のテーマと参加者
- 4° 山田提議
- 5° 科学者京研会誌の組織

1° (小川岩男)

- 季節
- 金の2と4の心配は2と4
- 3~4年一回の大型
1970 年と 1971.

(2°) C.C. の拡大 朝永はなぜか? (Rotblat 曰く)
年一回の形 (5万以下)

c.f. Sweden Pugwash の経費 ~ 2000 万円 (200名)
研究所の協力
政府の補助
ソ連は通訳団をもち

(山田) インターム (話のつらさ)

ホストラジ (regional meeting は 2年一回)
このときは日本格

(小沼) Rotblat は 日本の科学者は中国と contact
を重視している。

(湯川) 日本自身にマクスター要素

12/5 '67

1. 原理
2. 日本の状況. 1970年向題
3. 人員 マスキの制限の可能性
4. 金
5. 受入れ母体

2° 豊田氏はどうか? Rotblat 氏の地位.
継ソク委の構成が問題

(山田) 英との比較, 米ソ同数.
今更には

(坂田) CCの人材 Run-E 宣言と支持に如何かという事.

Present Cockcroft R.E. の署名者でもする.
Chairman - Powell

(豊田) コックロフトの人物紹介

New Pugwash. のこと

Pauling の外に出る事.

Siles Eaton と 医学者の Death.

Hertler.

(坂田) 京都会議の 外口学考と呼ぶか という事.

3° 1968 科. 学会誌 2冊くらゐ、と可なり...

(湯川) 1966年の対応をわたり、

対抗論 - 解消論に對抗して、世の中をへし。

(トマナガ) ABM問題

防犯兵器論

素材: 久保 大-スは科学界の中心

代々の ABM.

科学の国際協力

半軍資金

つと基本のな線

Tomonaga

公開の予言をつたえ、

253の原則の理論
をばつて

トマナガ

ABMを指して Le Mondeに書かれた。

1968年のテーマ

1. 兵器論、防犯論に 中山 提等. の検証 (Yamada-Davidson)
2. ~~生物科学~~, 科学界の両方...
人文

2032. 会

上 1, 2

他に 3. 南北問題

スゲジエウ.

6月中旬まで

期向: 最終日 3日南.

場所: 東京. 学工学会館.

参加者:

参加者の決定

- 3月末日まで (一般)
- 2月末日まで (speaker)

声明を出すのは目標に。

4° 山田提議

Nonfirst use $\frac{1}{2}$ 9x になる。

C.C. Statement には modify が必要。

Original Yamada.

(論議) 逆の意見とつまずく点に注意する。

(Tom) 1. 連の反応。
 国連に宣言

(Yamada) 松野財に7ヶ合では2ヶ。
 nuclear free zone を7ヶ下の国連に
 7ヶ2ヶのものに2ヶはつけられる。

(Saketa) 論議には 先不使用
 5ヶ国のみ

1. 田中, 谷川, 丸山, 坂本, 久野, 宮沢, 松井,
 江口, 大内, 末川, 南原, 大佛, (国際貿易)
2. BC ...

3.

大内, 我妻, 宮沢, 谷川, 田中, 末川, 南原, 大佛, 大河内, 久野,
 丸山, 坂本, 三宅, 田島, 福島, 野上, 佐久間, 小谷, 有山,
 (江上), 茅, 藤原, 菊池, 川端, 平塚, 見塚, 三村, 布留, 宮村,
 (用用) + 3名 = ~~33名~~ + (松井) = 28名 ≈ 20 65. 10. 500

夏山局. 豊田 小沼.

高木.
 牧
 山田
 沢田
 小北木.
 安野.
~~小川(特)~~
 小川(若)
~~下柳~~
 龜澤.

} の範囲で構成

牧, 小北木, 龜澤, 山田, 沢田, 高木, 小川.

5°

組:キ
 財政.

吉の. 憲法問題講演会のように.

★ 講演会. 会談の直後. (最終日の夕)

開会の辞	詢川	} 執筆 大内
講演会	未定. (後者)	
閉会の辞	朝永	

★ 科学者学術協会 報告集

広島 講演筆記をおくす 幸川. 三村.

12/5 '67

-6

当分のスケジュール

4th Conference 6月中旬

2月~3月 東京~京大 物理学の未来

★ 声明原案の作成

2月 CC での発行の準備

広島 講演速記の作成